

ネイティブヒト β -N-アセチルグルコサミニダーゼ

Cat. No. NATE-0781

Lot. No. (See product label)

はじめに

明 この酵素は、時に β -N-アセチルヘキソサミニダーゼと呼ばれ、さまざまな基質から末端の β -結合N-アセチルグルコサミンおよびN-アセチルガラクトサミンを解放することが報告されています。 β -N-アセチルグルコサミニダーゼの活性は、発色基質p-ニトロフェニル-N-アセチル- β -D-グルコサミニドで測定できます。 β -N-アセチルグルコサミニダーゼは、末端の非還元性N-アセチル-D-ヘキソサミン残基を加水分解します。この酵素は、ヘテロ二量体のHex Aとホモ二量体のHex Bという2つの主要なアイソザイムを含んでいます。N-アセチルグルコサミン、アセトアミド、N-2-アセタミド-2-デオキシグルコシルアミン、N-アセチルノジリマイシン、N-アセチルデオキシノジリマイシンは知られている阻害剤です。

用途 β -N-アセチルグルコサミニダーゼは、N-アセチル- β -D-グルコサミニドおよびN-アセチル- β -D-ガラクトサミニドを加水分解するために使用されるリソソーム酵素です。これは、 β -GlcNAcおよび β -GalNAccの効果的なトランスグリコシル化に基づくオリゴ糖のケモ酵素合成に使用されます。アルツハイマー病を研究するための有用なツールとなる可能性があります。

別名 ヘキソサミニダーゼ; β -アセチルアミノデオキシヘキソシダーゼ; N-アセチル- β -D-ヘキソサミニダーゼ; N-アセチル-ペータ-ヘキソサミニダーゼ; β -ヘキソサミニダーゼ; β -アセチルヘキソサミニジナーゼ; β -D-N-アセチルヘキソサミニダーゼ; β -N-アセチル-D-ヘキソサミニダーゼ; β -N-アセチルグルコサミニダーゼ; ヘキソサミニダーゼ A; N-アセチルヘキソサミニダーゼ; β -D-ヘキソサミニダーゼ; 9012-33-3; EC 3.2.1.52

製品情報

種 人間

由来 ヒト胎盤

形態 硫酸アンモニウム懸濁液。0.15 M NaClおよび0.1 Mリン酸ナトリウムを含む2.4 M (NH₄)₂SO₄の懸濁液、pH 6.0

EC番号 EC 3.2.1.52

CAS登録番号 9012-33-3

活性 6-20 ユニット/mg タンパク質

代謝経路 他のグリカン分解、特定の生物系; 他のグリカン分解、保存された生物系; アミノ糖およびヌクレオチド糖の代謝、特定の生物系; アミノ糖およびヌクレオチド糖の代謝、保存された生物系; グリコサミノグリカン分解、特定の生物系; グリコサミノグリカン分解、保存された生物系; グリコスフィンゴ脂質生合成-ガングリオシ리즈、特定の生物系; グリコスフィンゴ脂質生合成-ガングリオシ리즈、保存された生物系; グリコスフィンゴ脂質生合成-グロボシ리즈、特定の生物系

機能 マンノシル-グリコプロテイン エンド-ペータ-N-アセチルグルコサミニダーゼ活性; ペータ-N-アセチルヘキソサミニダーゼ活性; カチオン結合; 加水分解酵素活性、O-グリコシル化化合物を加水分解する; タンパク質ヘテロ二量体化活性

単位定義 1ユニットは、pH 4.25、25°Cで、1.0 μ moleのp-ニトロフェニルN-アセチル- β -D-グルコサミニドをp-ニトロフェノールとN-アセチル-D-グルコサミンに加水分解します。

